

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800358		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	グループホーム ほのかの里		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80		
自己評価作成日	平成24年3月1日	評価結果市町村受理日	平成24年4月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175800358&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175800358&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成24年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

原則や決まりごとをみだりに作るのではなく、一人ひとりが自由でありのままに過ごせることを心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームほのかの里」は、JR栗山駅から車で5分程の、自然豊かな場所に位置している。近くにホームセンターや商店の他、四季の花々を楽しむ事ができる栗山公園などがあり、生活環境にも恵まれたグループホームである。各ユニットの管理者は、ともに向上心を持ち、課題を明確にしながらより良いグループホーム作りを目指して日々取り組んでいる。前回の外部評価課題にも全職員で真摯に取り組み、少しずつ目標が達成されている。職員は、理念に掲げるようにいつも明るい笑顔で利用者に積極的に話しかけ、その人らしいゆったりとした生活を支えている。職員間のコミュニケーションも良く、利用者や家族との信頼関係も深められており、日々の温かなケアに喜びの声が寄せられている。運営者や管理者は、常に職員の意見や提案に耳を傾け、働きやすい職場と利用者が過ごしやすいような環境整備に力を入れている。広々とした室内は清潔に保たれ、温湿度管理にも配慮して健康的な生活が送れるように支援している。庭に設けられている東屋は、近隣住民や双方のユニット利用者の交流の場となっており、利用者の伸び伸びとした生活を支えている。

V. サービスの成果に関する項目(Aユニットアウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	実践しております。	「いつも笑顔で」という理念の一項目に、今年度、全職員で話し合い、「地域とともに」という地域密着型サービスの意義を踏まえた文言を追加し、居間に掲示している。職員は理念に沿って、利用者がありのままの姿で、ゆったりと自由に過ごせるように取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の人達との交流が折にふれてあり、地域とつながれているのではないかと思います。	町内会に加入して、回覧板を利用者と一緒に届けたり、日々の散歩で挨拶を交わしている。近隣から野菜のお裾分けを頂く事もある。夏季は、庭の東屋に近隣住民が訪れ、会話を交わす機会もある。事業所の夏祭りなどには、多くの地域住民が参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	機会があれば、地域の人たちに必要な情報を伝えていけたらと思う。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	東日本大震災を受けて、災害時の対応について話し合いました。その他、例年通り夏祭りを通して御家族や町内会の人たちとの交流の機会を作りました。	夏まつりや避難訓練を兼ねた運営推進会議を3回開催し、災害時の地域連携や熱中症予防など話し合いが行われている。参加者は、町内会長、消防署員、家族代表などで、役場職員の参加は1回のみになっている。	年間の議題設定などを行い、計画的に会議を開催し、役場職員や家族の参加に繋がるような工夫を期待したい。外部評価結果報告も議題に組み込み、参加者からの意見が日々のケアに更に活かされるように期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	折に触れて役場に行く機会があり、認定調査などの際に役場の方がこられるので、その都度協力を仰ぐことができています。	管理者が介護保険の更新で役場を訪問したり、利用者の介護認定で役場関係者が事業所を訪問している。訪問時や来訪時に、その都度利用者の状況に応じた相談などを行っている。役場主催の研修会などにも、積極的に職員が参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なわれておらず、日中は玄関の施錠をせずに過ごすことができています。	禁止となる具体的な行為のチェックシートを準備して日々のケアを振り返り、拘束について職員間で再確認を行っている。玄関は夜間のみ施錠し、利用者が出掛けようとした時は職員が同行し、本人の気持ちに沿った外出ができるように支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止について23年12月に栗山町主催の研修会がありました、御利用者様の自宅や事業所内で虐待があるという話は聞かれておりません。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関して学ぶ機会はありませんでした。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の疑問を聞き、十分な説明を行なう準備はできています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来訪された際などに、意見要望を常に聞く姿勢を作っています。	家族の来訪時に、意向や思いなどが話しやすいように、具体的な内容で話しかけるように工夫している。家族の意見は職員間で口頭で連絡を行う事が多いため、今後は記録の充実を図って行く意向である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員一人一人の提案を反映できる職場づくりを目指しています。	管理者は、カンファレンスや日々のケアの中で各職員の意見や提案を聞いている。職員は、管理者を通じて、浴室の手すり設置や備品購入などを運営者に伝えることで、利用者が過ごしやすいような環境整備を行っている。勤務体制なども、職員の希望を重視している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	十分に整備されていると思います。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎日の業務の実情を踏まえた実践的な研修が内部研修として与えられたら良いなと思います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は、あまり無いのが実情かと思えます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の要望や困っていることに耳を傾ける姿勢は常に持っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来訪の際や電話などで、困っていることに耳を傾ける機会をつくっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度必要な対応を行なっています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	台所の手伝いや、もやしのひげ取り、掃除、洗濯物をたたむなどというお手伝いを、可能な方はなさっております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	必要に応じて家族と連絡を取っているが、もっと積極的な関係作りが必要かと思います。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪などによって、馴染みの人との関係は続けていけているように思います。	近隣に住んでいた知人や趣味仲間が訪問する利用者もあり、来訪時はお茶などを出して、居室などでゆっくり過ごしてもらえるように配慮している。家族の協力の下、実家を訪問したり、お墓参りや馴染みの美容室などに出掛けている利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんの輪の中に入っている感覚を、レクなどを通じて持つことが出来ると思っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	具体的な相談、支援を行なったことはありませんが、全く心に留めていないわけではありません。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段のコミュニケーションを通じて、意向を把握できていると思います。	自分から思いを伝える利用者は少ないため、日々の会話の中から希望を把握したり、具体的に質問して意向の把握に努めている。職員間で、得られた情報の交換は行われているが、口頭での連絡が主になっている。	日々得られた情報を記録する事で、情報の蓄積と更なる職員間の情報共有を期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	主に普段の会話の中から生活歴を把握し、本人の背景を尊重した支援を心がけております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	無理をしないほうが良い方には無理をさせず、できることは極力自分でやって頂いております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	普段の会話から得た情報を基に介護計画を作成しております。	定期的な介護計画の見直しは、現在6か月毎に行われている。計画作成担当者が日々のケアの中で職員の意見を聴き取り、数名の職員がモニタリングに参加して介護計画を作成している。家族の意向は来訪時や見直しの時期に聴き取り、計画に反映させている。	全職員が参加できるモニタリング方法の工夫と、定期的にモニタリングを実施し、更なる介護計画の充実を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別記録を記入し、情報を共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度生まれるニーズを察知し、柔軟な支援が出来ていると思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公園や季節を感じられる場所などへ行く機会をつくり、暮らしを楽しむ支援を行なっております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療を受ける機会をその都度つくっております。	訪問看護師の週1回の訪問の他、今年度から利用者の希望に応じて個別に医療連携を結び、月2回の訪問診療が行われている。訪問診療を受けていない利用者の受診送迎は事業所で行い、必要に応じて家族も同行している。受診記録は情報ノートに記録している。	

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週に一度来られ、連携を取りながらケアを行なっております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	1泊2日の検査入院が一度ありましたが、病院や家族と十分連携して入院することができました。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「看取り」については家族に文書で同意を得、ご本人、ご家族の希望があれば行なう方針です。	今年度「重度化・終末期ケア対応指針」を作成して、本人や家族の希望に応じて、医師の判断の下、事業所で看取りも可能である旨を各利用者家族に説明して、同意を得ている。訪問診療を受けている利用者の看取りは、医師の協力の下事業所で可能であるが、他の利用者の看取りは難しいと考えており、家族に伝えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普段から急変時のことを話し合う機会を持っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行なっております。	地域との協力体制が築かれており、消防署の協力の下、年間2回昼夜の火災を想定した避難訓練を町内会長も参加して実施している。地震時の対応や職員配置を法人の事業所間で取り決め、災害時に備えている。職員は救急救命講習を定期的を受講し、災害備蓄品も整備している。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉に配慮しつつ接しております。	命令口調を避け、呼び方は原則として姓にさん付けをするなど、言葉に配慮し、気が付いたらお互いに注意し合っている。個人情報の書類の保管は部外者に見られないよう、収納されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いを表す機会を極力つくっております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のその人らしい過ごし方を尊重しつつ、支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	充分かと思うが、もっとそれぞれの思いを受け入れたいと思います。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日には好きな物を選んで頂いたり、おやつ作りを一緒にするなど行ないました。また、すし屋さんに来て頂いて皆さんで生寿司を食べるというイベントも行ないました。	献立は法人本部が決めて通知してくるが、予算内で変更や食材の購入は自由なので、利用者の希望に沿って調理している。食卓には職員も同席し、積極的に話しかけて、賑やかで楽しい食事風景が見られる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量を毎日把握して、水分が十分取れる支援を行っております。おやつ時には意識して皆さん極力2杯飲んでいただくよう声をかけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要な人にはトイレの定時誘導を行うが、極力自立を促している。	排泄が自立している人が6名で、他は排泄時間を記録し、適宜時間を見て声掛け誘導し、自立に近づける努力をしている。基本は布パンツとしているが、必要に応じて紙パンツも使用している。おむつ使用者は1名である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ごぼうやサツマイモなどの食物繊維、ヨーグルトなどの乳製品の利用にて便秘予防・解消に努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個人の精神状態により、入浴時間を午前中にしたり、入浴拒否の意思があるときは無理に入浴を行わないようにしております。また、楽しみの一つとして、入浴剤を日替わりで使用したりもしております。	日曜日を除く毎日の午後が入浴時間帯となっているが、必要があれば日曜日にも入浴日に充てる。週2回を目標にしているが、中に拒む人もいて、職員を変えたり仲のいい利用者同士と一緒に奨めることで入浴を実現している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	様子を伺い、休みたい方には休んで頂けるよう促しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬による症状の変化について、全員で気に留めることにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の嗜好を大切にしつつ、楽しみを作る支援を行なっているが、台所の手伝いなど、一人の御利用者様が独占的になっているものもあるので、もう少しみんなで出来るようになれば良いという思いもあります。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Aユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やあずまやでのレクリエーションを行なっているが、もう少し外出の回数も多くし、マンネリ化しない工夫が必要かと思ひます。	雪のない季節は天気が良ければ毎日散歩に出掛ける。全員週に1回以上は外出するようお世話している。町内を散歩するほか、近くの公園まで出掛れたり、秋祭りの時に神社を見に行ったり、運河に飛来する白鳥を見に行ったり、藤棚を見たりと足を伸ばすこともある。冬の外出が困難になることが悩みである。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を自身で持っている人もいますが、あまり買物などの機会を作れていないのが現状です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そのような事を行なう体制は作れていますが、家族との交流が少ない人が多く、もう少しホーム側から働きかけて家族の介入を促す必要があるのかという思いもあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地のいい居住空間だと思います。	ゆったりしたスペースの食堂と居間が一体になった空間は明るく、トイレ、風呂、洗面所は清潔である。壁には季節の装飾や行事の写真などが飾られ、楽しい雰囲気が演出されている。冬の乾燥にも気配りをして、加湿器、濡れタオルなどを活用して50%以上を保つように心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者それぞれの自由が許される雰囲気があると思います。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や食器・衣服など、極力本人の馴染みのものを使用できる工夫をしております。	カーペット敷きの温かく、明るい部屋で、備え付けのタンス一竿が用意されている。各自好みに応じてテレビ、仏壇、椅子、テーブル、鏡などを配備し、人形や装飾品、花瓶、写真などで部屋を飾っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に暮らせる建物だと思います。		



### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800358		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	グループホーム ほのかの里		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80		
自己評価作成日	平成24年3月1日	評価結果市町村受理日	平成24年4月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の表情を見て頂きたいです。また、ホームの雰囲気を見て頂きたいです。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175800358&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0175800358&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成24年3月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(Bユニットアウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Ｂユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員一人一人が理念を理解し、実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りやクリスマス会、避難訓練など近隣住民の方々と町役場など参加して頂けるようお声を掛けさせて頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームを訪れる御家族や地域の人々が認知症について疑問点などある場合、職員が説明しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では外部評価の結果を報告したり今後の行事内容を説明、または意見を頂いたりしております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町役場や地域のケアマネージャーなどと情報交換や相談など積極的に行なっております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修や勉強会にも積極的に参加し職員一人一人が理解し実践しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する研修や勉強会に積極的に参加し虐待防止につとめております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内に成年後見制度を利用されたご入居者様がおられ、スタッフの意識は徐々に高まってきております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、十分な説明をし、契約書に捺印していただいております。入居後も御家族からの不安や疑問点もその都度説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関前に意見箱を設置し、意見・要望があれば運営に反映させる準備をしております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度はカンファレンスを行い、職員の意見の提案を話す機会があり運営に反映されている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来る限り配慮しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人一人のケアの実際と力量の把握に努めております。また研修や勉強会を受ける機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町の研修や他事業所と合同での研修などを実施してサービスの質の向上に取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に御本人様から困っていること、不安なこと、要望等を御本人の負担にならないよう耳を傾けております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に御家族が困っていること、不安なこと、要望等を聞いて対応させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に御本人様、御家族様がもっと必要としていることを教えて頂き対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩ということを職員一人一人が意識し関係を築いております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様と信頼関係を築き、ともに入居者様を支えております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームには御家族以外にもご友人や親類の方なども頻繁に面会に来られております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御入居者様一人一人が孤立せず。御入居者様同士関わりを持てるよう職員が間に入り支援に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	昨年サービス利用が終了された御入居者様の御家族様が何度か訪問され、他入居者様や職員とお話を楽しまれておりました。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に御本人様や御家族様から生活歴など負担によう聞いております。また入居後も信頼関係を築くことにより御本人からお話をされることもあります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御入居者様一人一人のADL、QOLを把握しサービスに生かしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御家族が面会に来られたときや電話などで意見、要望等を聞き介護計画に活かせるよう対応しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御家族様が面会に来られた時や電話などで意見・要望を聞き、介護計画に活かしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノートや介護記録に職員全員が情報を共有できるよう、また介護計画に活かせるよう対応しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人様や御家族様の状況により既存のサービスに捉われない支援を行なっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し活用できるよう対応しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族や御本人の希望に沿って対応させて頂いております。また、昨年度より訪問診療を開始し御本人御家族が希望され数名が利用しております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Ｂユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	昨年度より訪問看護を開始しており入居様が安全で適切な看護を受けられるよう支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	町立病院と情報交換や相談を蜜に行なっております。また訪問看護診療医にも入退院時の相談しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	昨年度より訪問診療を開始し、ターミナルケアの実施に取り組んでおり御本人様や御家族様と話し合いを行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期対応の研修に参加し職員一人一人事故発生時に備えております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震の際のマニュアルを作成しており、職員一人一人把握しております。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩ということを常に念頭に置き接しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御入居者様一人一人の希望や思いなど出来る限り尊重できるよう対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御入居者様本意のサービスができるよう心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御入居者様が一日一日を自分らしく生活していただけるよう心がけています。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御入居者様一人一人のADLを活かしながら職員と一緒に食事の準備や後片付けを行なっております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	御入居者様一人一人の栄養摂取量、水分量をチェック表を作り把握しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	御自分で出来る方には声掛けをし、御自分で出来ない方は職員が毎食後介助を行なっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	御入居者様一人ひとりの排泄のパターンを把握し出来る限りトイレでの自立排泄を支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックをおこなっており、一人一人の排便パターンを把握し飲食物の工夫や運動を行なっております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	出来る限り御入居者様の希望や要望にこたえられるよう支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	御入居者様一人一人の生活習慣を把握し気持ちよく眠られるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が徐々にですが薬の目的や副作用等を把握できるようになってきました。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御入居者様一人一人のADLに沿った支援をおこなっております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(Bユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	御本人の希望があれば出来る限り支援に努めております。また御家族様にも協力して頂き出かけられるよう支援しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御入居者様数名は御自分でお金を所持し職員付き添いで近くのお店で買物できるよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人の希望があり御家族の了解があれば支援させて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間が御入居者様にとって居心地の良い場所で行われるよう生活観、季節感を取り入れております。また職員もできるだけ大きな声や音を立てず対応しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	御入居者様同士楽しく過ごせるよう配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時や入居後など御本人が使いなれたものや好みの物を持ち込んでいただいております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室・浴槽内に新たに手すりを設置し、自立した生活が送れるよう工夫しております。		



## 目標達成計画

事業所名 ほのかの里

作成日：平成 24年 4月 2日

市町村受理日：平成 24年 4月 3日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催数が少ない。	運営推進会議を開催する頻度を多くする。	各ホーム(A棟、B棟、桜丘)で1つずつテーマを持ち寄り、地域の方や入居者のご家族様の関心のある議題で、運営推進会議を1回でも多く開催する。	1年
2	23	入居者様の生活歴や、嗜好などをはっきりと把握し、文書に残すことでスタッフ同士の情報の共有化を図る事が望まれると思う。	一人ひとりの生活歴をはっきり把握し、スタッフ同士共有できる形で書面に残す。	「私の暮らし方シート」を用意し、年に1回は入居者様の嗜好を見直した上で作り直す。	1年
3	26	モニタリングの実施頻度が少なく、また全職員が参加できる形になっていない。	月1回、全員のモニタリングを行う。	モニタリングシートを新たに用意し、毎月書き込める形でモニタリングを行う。	1年
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。